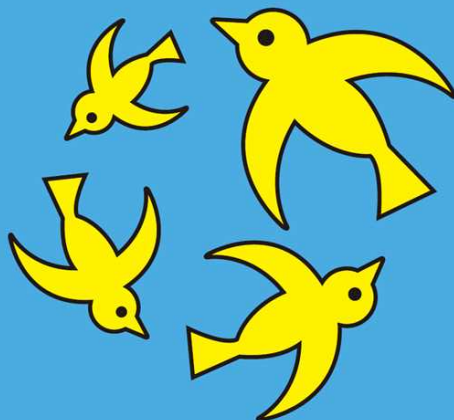


**39. 新学習指導要領下における学習評価
及び指導要録の改善について**

新しい学習指導要領

生きる力

学びの、その先へ



新学習指導要領下における 学習評価及び指導要録の改善について

令和3年

文部科学省初等中等教育局教育課程課



文部科学省



1. 新高等学校学習指導要領について

学習指導要領改訂に関するスケジュール



	平成26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	2年度 (2020)	3年度 (2021)	4年度 (2022)		
幼稚園		中教審における検討		周知・徹底	平成30年度～全面实施						
小学校		中教審諮問	論点整理	審議まとめ	改訂 29・3・31	移行期間	教科書検定	採択・供給	使用開始	令和2年度～全面实施	
中学校		26・11・20	27・8・26	28・8・26	28・12・21	改訂 29・3・31	移行期間	教科書検定	採択・供給	使用開始	令和3年度～全面实施
高等学校					改訂 30・3・30	周知・徹底	移行期間	教科書検定	採択・供給	使用開始	令和4年度～年次進行で実施

特別支援学校学習指導要領(幼稚園及び小学部・中学部)についても、平成29年4月28日に改訂告示を公示。
特別支援学校学習指導要領(高等部)は、平成31年2月4日に改訂告示を公示。

学習指導要領改訂の考え方



新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた 教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共」の新設など
各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

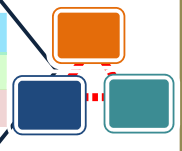
学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成
知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び



※高校教育については、些末な事象的知識の暗記が大学入学者選抜で問われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。



学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力，人間性等

どのように社会・世界と関わり，
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力，判断力，表現力等

【参考】学校教育法第30条第2項

生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

4

高等学校の各学科に共通する教科・科目等及び標準単位数①



〔 改 訂 〕				〔 現 行 〕			
教科	科 目	標準 単位数	必履修科目	教科	科 目	標準 単位数	必履修科目
国語	現代の国語	2	○	国語	国語総合	4	○2単位まで何
	言語文化	2	○		国語表現	3	
	論理国語	4			現代文A	2	
	文学国語	4			現代文B	4	
	国語表現	4			古典A	2	
	古典探究	4			古典B	4	
地理 歴史	地理総合	2	○	地理 歴史	世界史A	2	□○
	地理探究	3			世界史B	4	
	歴史総合	2	○		日本史A	2	
	日本史探究	3			日本史B	4	
	世界史探究	3			地理A	2	
公民	公共	2	○	公民	現代社会	2	「現代社会」 又は 「倫理」・「政治・経済」
	倫理	2			倫理	2	
	政治・経済	2			政治・経済	2	
数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで何	数学	数学Ⅰ	3	○2単位まで何
	数学Ⅱ	4			数学Ⅱ	4	
	数学Ⅲ	3			数学Ⅲ	5	
	数学A	2			数学A	2	
	数学B	2			数学B	2	
	数学C	2			数学活用	2	
理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」を 含む2科目 又は 基礎を付した科目を 3科目	理科	科学と人間生活	2	「科学と人間生活」を 含む2科目 又は 基礎を付した科目を 3科目
	物理基礎	2			物理基礎	2	
	物理	4			物理	4	
	化学基礎	2			化学基礎	2	
	化学	4			化学	4	
	生物基礎	2			生物基礎	2	
	生物	4			生物	4	
	地学基礎	2			地学基礎	2	
	地学	4			地学	4	
		4			理科課題研究	1	



保健 体育	体育 保健	7~8 2	○ ○
芸術	音楽Ⅰ	2	○
	音楽Ⅱ	2	
	音楽Ⅲ	2	
	美術Ⅰ	2	
	美術Ⅱ	2	
	美術Ⅲ	2	
	工芸Ⅰ	2	
	工芸Ⅱ	2	
	工芸Ⅲ	2	
	書道Ⅰ	2	
	書道Ⅱ	2	
	書道Ⅲ	2	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ	
英語コミュニケーションⅡ		4	
英語コミュニケーションⅢ		4	
論理・表現Ⅰ		2	
論理・表現Ⅱ		2	
論理・表現Ⅲ		2	
家庭	家庭基礎	2	□○
	家庭総合	4	
情報	情報Ⅰ	2	○
	情報Ⅱ	2	
理数	理数探究基礎	1	
	理数探究	2~5	
総合的な探究の時間		3~6	○2単位まで減

保健 体育	体育 保健	7~8 2	○ ○
芸術	音楽Ⅰ	2	○
	音楽Ⅱ	2	
	音楽Ⅲ	2	
	美術Ⅰ	2	
	美術Ⅱ	2	
	美術Ⅲ	2	
	工芸Ⅰ	2	
	工芸Ⅱ	2	
	工芸Ⅲ	2	
	書道Ⅰ	2	
	書道Ⅱ	2	
	書道Ⅲ	2	
	外国語	コミュニケーション英語基礎	
コミュニケーション英語Ⅰ		3	
コミュニケーション英語Ⅱ		4	
コミュニケーション英語Ⅲ		4	
英語表現Ⅰ		2	
英語表現Ⅱ		4	
英語会話	2		
家庭	家庭基礎	2	□○
	家庭総合	4	
	生活デザイン	4	
情報	社会と情報	2	□○
	情報の科学	2	
総合的な学習の時間		3~6	○2単位まで減

6



2. 学習評価及び指導要録の改善について



児童生徒の学習評価に関する検討の経緯



□平成28年12月21日

「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」

(中等教育審議会答申)(※)

(※)学習指導要領の改訂に伴う学習評価の検討については、従来、学習指導要領の改訂を終えた後に行うのが一般的だったが、今回の改訂では、教育課程と学習評価の改善について一体的に検討され、学習評価の改善についても本答申に示された。



以下
「答申」
という。

□平成31年1月21日

「児童生徒の学習評価の在り方について」

(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会報告)



以下
「報告」
という。

□平成31年3月29日

「小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録等の改善等について」

(文部科学省初等中等教育局長通知)



以下
「改善等通知」
という。

以降の説明資料の下部に、当該資料に関して参考とすべき答申、報告、改善等通知を<参考>として掲載するので、適宜御参照いただきたい。

8

高等学校における観点別学習状況の評価の充実



【指導要録の参考様式における改善点】

高等学校における観点別学習状況の評価の更なる充実とその質を高めることが必要。



指導要録の参考様式にも各教科・科目の観点別学習状況を記載する欄を設置。

様式2 (指導に関する記録)		学年		区分		学期		1		2		3		4	
学 校 名		学 校 名		学 校 名		学 校 名		学 校 名		学 校 名		学 校 名		学 校 名	
各教科・科目等		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		備考	
教科書	科目等	学 習 状 況	修 得 単 位 数	学 習 状 況	修 得 単 位 数	学 習 状 況	修 得 単 位 数	学 習 状 況	修 得 単 位 数	学 習 状 況	修 得 単 位 数	学 習 状 況	修 得 単 位 数		
国語	現代の語彙	AAA	5												
英語															
歴史															
公民															
数学															
理科															
体育															
芸術															
総合															
職業															
その他															

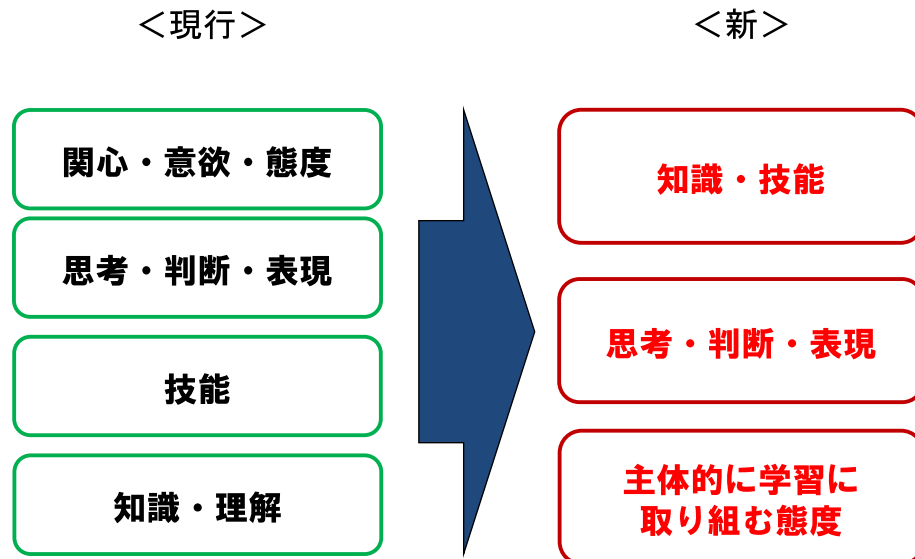
第1 学年		
学 習 状 況	観 点 別	修 得 単 位 数
AAA	5	2

従来の評定、修得単位数に加えて、「観点別学習状況」欄を新設

観点別学習状況の評価の観点の整理



資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理。



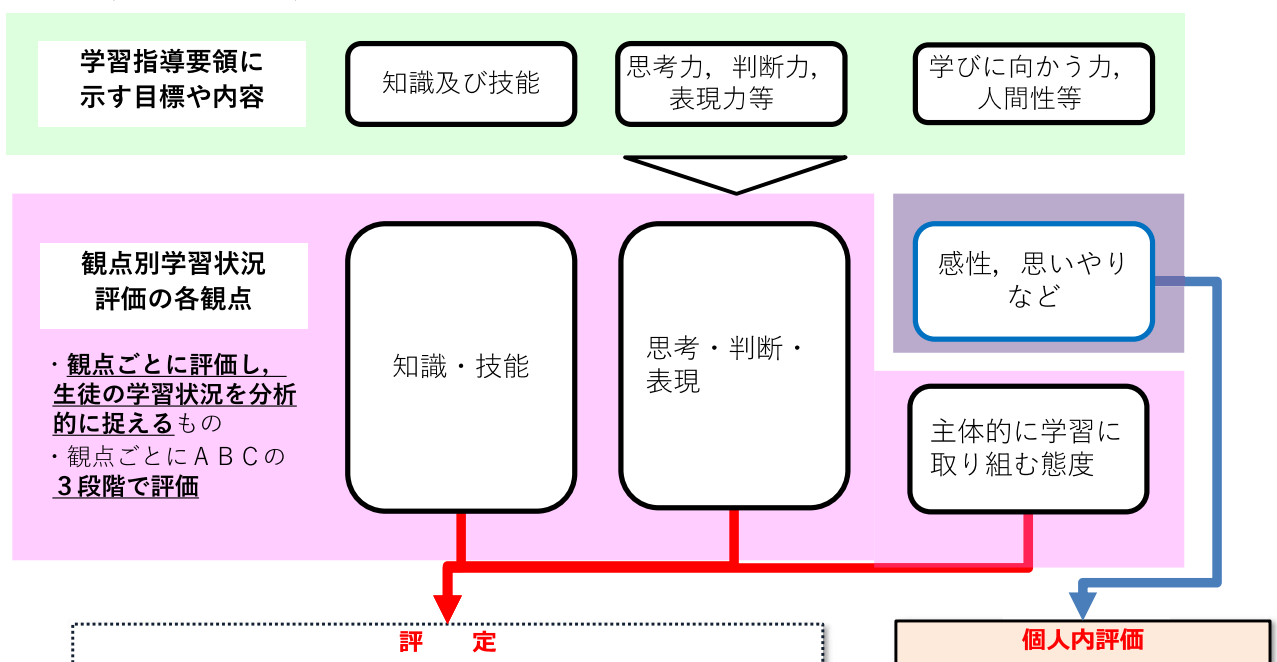
<参考> 答申P. 61 報告P. 7 改善等通知2. (1)

10

【まとめ】各教科における評価の基本構造



- 各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況进行评估するもの（目標準拠評価）
- したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



- 観点別学習状況の評価の結果を総括するもの。
- 5段階で評価（小学校は3段階。小学校低学年は行わない）

- 観点別学習状況の評価や評定には示しきれない児童生徒一人一人のよい点や可能性、進歩の状況について評価するもの。

<参考> 報告P. 6

11



参考：高等学校指導要録の参考様式の主な変更点

◆様式2 (指導に関する記録) 裏面

様式2 (指導に関する記録)		学 校 名		学年			
生徒氏名		学年		1	2	3	4
各教科・科目等	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	備考		
	評定	評定	評定	評定			
教科等	科目等	評定	評定	評定	評定	評定	評定
国語	現代の国語	評定	評定	評定	評定	評定	評定
歴史		評定	評定	評定	評定	評定	評定
地理		評定	評定	評定	評定	評定	評定
公民		評定	評定	評定	評定	評定	評定
数学		評定	評定	評定	評定	評定	評定
理科		評定	評定	評定	評定	評定	評定
体育		評定	評定	評定	評定	評定	評定
芸術		評定	評定	評定	評定	評定	評定
外国語		評定	評定	評定	評定	評定	評定
総合		評定	評定	評定	評定	評定	評定
職業		評定	評定	評定	評定	評定	評定
その他		評定	評定	評定	評定	評定	評定

従来の評定、修得単位数に加えて、「観点別学習状況」欄を新設
 ※定期考査や実技などで活用可能な事例を提示するなど、高等学校の実態や教師の勤務負担の軽減に配慮

特別活動の記録は、従来の文章記述を改め、各活動・学校行事ごとに評価の観点に照らして十分満足できる活動の状況にあると判断される場合に○印を記入

◆様式2 (指導に関する記録) 裏面

総合的な学習の時間の記録		学年			
内容	観点	1	2	3	4
ホームルーム活動					
学校行事					
その他					

文章記述欄は、要点を箇条書きとするなど記載事項を必要最小限に

12

学習評価の在り方ハンドブック



➤ 令和元年6月 国立教育政策研究所作成
 (小・中学校編、高等学校編)

➤ URL https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/gakushuhyouka_R010613-01.pdf
 (QRコードはこちら →)



➤ 以下の項目を、コラムも加えつつ、教師向けに分かりやすく説明(12頁)

- ・ 学習指導要領と学習評価の関係
- ・ 学習評価の基本的な考え方
- ・ 学習評価の基本構造
- ・ 特別の教科 道徳, 外国語活動, 総合的な学習の時間及び特別活動の評価について
- ・ 観点別学習状況の評価について
- ・ 学習評価の充実
- ・ Q&A





○「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
(国立教育政策研究所作成)

- 小学校・中学校：令和2年3月
- 高等学校：令和3年8月

➤ 構成

- 第1編 総説
- 第2編 「内容のまとめりごとの評価規準」を作成する際の手順
- 第3編 単元（題材）ごとの学習評価について（事例）



- URL <https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>

(QRコードはこちら →)



○特別支援学校小学部・中学部学習評価参考資料(文部科学省作成)

- URL https://www.mext.go.jp/content/20200515-mxt_tokubetu01-1386427.pdf

(QRコードはこちら →)



NITSのオンライン講座



- NITS (独立行政法人教職員支援機構) 作成

- URL <https://www.nits.go.jp/materials/>

(QRコードはこちら →)



- YouTubeで講義動画を配信 (1本約20分)

「新学習指導要領編」

- ・ [新学習指導要領に対応した学習評価 \(高等学校編\)](#)

(文部科学省 初等中等教育局 主任視学官 長尾篤志)

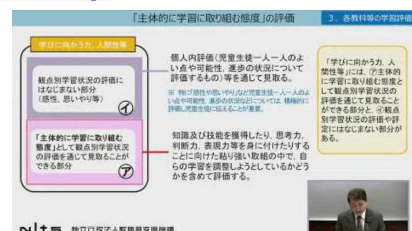
- ・ [障害のある児童生徒に対する指導と評価](#)

(文部科学省 特別支援教育課 特別支援教育調査官 青木隆一)

その他、新学習指導要領の各教科等の改訂のポイントを解説した動画等

「校内研修シリーズ」

学習指導の充実 (カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学び等)、
初等中等教育の充実 (言語活動、外国語教育、道徳教育等) など多数



40. 高校生のための学びの基礎診断

「高校生のための学びの基礎診断」制度

- 平成28年3月の高大接続システム改革会議「最終報告」を踏まえ、有識者による検討・準備グループ等において具体的な検討を推進。同グループによる「論点整理」（平成29年3月）や試行調査（平成29年1～3月）の結果を踏まえ、平成29年7月に「高校生のための学びの基礎診断」実施方針を策定。
 - 「高校生に求められる基礎学力の確実な習得」と「学習意欲の喚起」を図るため、**文部科学省が一定の要件を示し、民間の試験等を認定する制度を創設し、多様な民間の試験等（測定ツール）の開発・提供、その利活用を促進。**それにより、**高校生の基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの取組を促進。**
 - 「高校生のための学びの基礎診断」検討ワーキング・グループにおける専門的な検討を加え、高校・教育委員会等の関係者、民間事業者等の意見やパブリック・コメントによって得られた意見等を考慮しつつ、**平成30年3月に「『高校生のための学びの基礎診断』の認定基準・手続等に関する規程」を策定。**
 - 平成30年12月に初めて測定ツールの認定を行い、平成31年度から本格的に利活用開始。
- ※学校や教育委員会等において選択・利活用について検討し、次年度の年間指導計画等に反映。

国

高等学校における基礎学力の定着に向けたPDCAサイクルの構築



各学校の実情等を踏まえ、適切な測定ツールを、必要に応じて組み合わせながら選択・活用

測定ツールの充実

「高校生のための学びの基礎診断」制度の創設

（一定の要件に即して民間の試験等を認定する制度を創設）

認定基準等の設定 **審査・事後チェック体制の整備**

仕組みの構築と運用を通じて、民間事業者等から高等学校の実態に応じて選択可能な多様な測定ツールが開発・提供され、その利活用が促進されることが期待。

認定基準

（出題）

- ・学習指導要領を踏まえた出題の基本方針に基づく問題設計
- ・対象教科は国・数・英（共通必修科目中心、義務教育段階含む）
- ・主として知識・技能を問う問題に加え、主として思考力・判断力・表現力等を問う問題の出題
- ・記述式問題の出題 ・英語4技能測定

（結果提供）

- ・学習成果や課題が確認でき、事後の学習改善や教師による指導の工夫・充実に資する結果提供 等

（認定の有効期限）

- ・認定の有効期限は認定をしたときから3年後の年度末まで



教育委員会等

教育委員会等による学校への支援

- 高校の魅力づくりとともに、質の確保のための体制強化や再編整備
- 学校支援のための人材配置や予算措置、教員研修等の取組

「高校生のための学びの基礎診断」認定ツール一覧

（平成30年度申請分）

認定期間：2022年3月31日まで

対象教科	団体名	測定ツールの名称	基本（※1）	標準（※2）	対象教科	団体名	測定ツールの名称	基本（※1）	標準（※2）
国語	日本漢字能力検定協会	文章読解・作成能力検定 4級	●		3教科	学研教育みらい	基礎力測定診断 ベーシックコース	●	
		文章読解・作成能力検定 3級		●			進路マップ 基礎力診断テスト	●	
		文章読解・作成能力検定 準2級		●			進路マップ 実力診断テスト		●
ベネッセコーポレーション	Literas 論理言語力検定 3級	●		スタディーサポート αタイプ、βタイプ、θタイプ				●	
	Literas 論理言語力検定 2級		●	スタディープログラム				●	
数学	日本数学検定協会	実用数学技能検定 3級	●			リクルート	スタディサプリ 学びの活用カ診断 I・II～ベーシック～	●	
		実用数学技能検定 準2級		●	スタディサプリ 高1・高2 学びの活用カ診断～スタンダード～			●	
		数検スコア基礎診断 数I・数A（項目別診断）		●					
	数検スコア総合診断 数I・数A		●						
ベネッセコーポレーション	ベネッセ数学理解力検定		●						
英語	教育測定研究所	英検IBA TEST C 4技能版	●						
	ケンブリッジ大学英語検定機構	ケンブリッジ英語検定 A2 Key for Schools(PB/CB)		●					
		ケンブリッジ英語検定4技能CBT (Linguaskill)		●					
	Z会ソリューションズ	英語CAN-DOテスト レベル2	●						
		英語CAN-DOテスト レベル3		●					
ブリティッシュ・カウンシル	Aptis for Teens (中高生向けAptis)		●						
ベネッセコーポレーション	GTEC Advancedタイプ・Basicタイプ・Coreタイプ	●	●	Core	Basic Advanced				

※1：義務教育段階の学習内容の定着度合いを測定することを重視したタイプ
 ※2：高等学校段階の共通必修科目の学習内容の定着度合いを測定することを重視したタイプ

**41. 高等学校卒業程度認定試験
パンフレット（一般用）**

令和3年度

高等学校卒業程度 認定試験

合格すると「高等学校卒業者と同等以上の学力がある」と認められ、「大学入学資格」が得られます。

この一歩から、新しい自分。



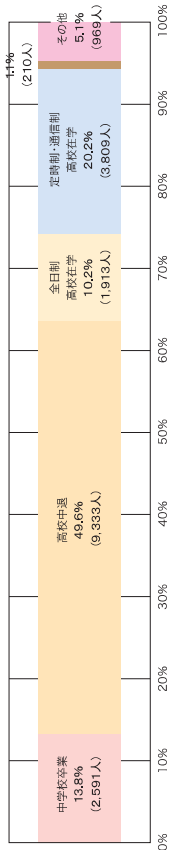
高等学校卒業程度認定試験 (高卒認定試験)

この試験は、いろいろな理由で高校等を卒業していない人のために、「高校を卒業した人と同等以上の学力があるかどうか」を文部科学省が認定する試験です。

高卒認定試験に合格すると、
大学・短大・専門学校を受験資格が得られます。
就職や資格試験の受験にも活用できます。



■最終学歴別出願者数の割合（令和2年度）



様々な背景を持つ人が受験しています

どんな人が
受けているの？

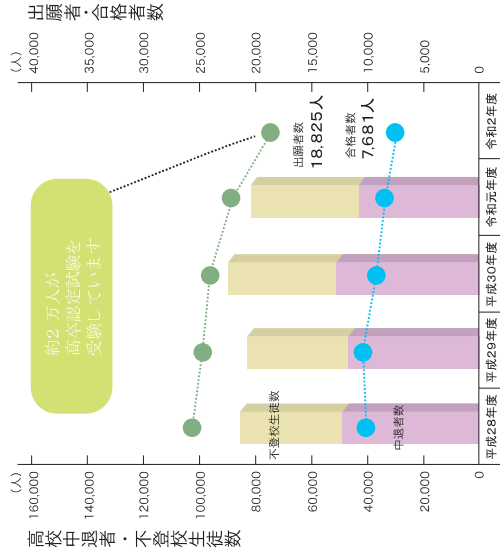
難しいの？

大きな
試験なの？



合格者数は、全科目（8～10科目）の合格者数です。年間約9千人が合格しています。

◎出願者と合格者数



注1) 出願者数及び合格者数は、「児童生徒の課題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」より
注2) 令和2年度の出願者数は、令和2年2月1日現在のものです。

◎受験資格

16歳以上になる大学入学資格のない人
(高校、中等教育学校、高等専門学校、専修学校高等課程などを卒業していない人)

例えば… ● 中卒の人

- 高校を中退した人
- 高校には在学しているが通学していない人

もし、18歳になる前に全ての科目に合格した場合は、18歳の誕生日の翌日から合格者になります。

◎試験科目と合格要件

教科	試験科目	合格要件
国語	国語	必修
数学	数学	必修
外国語	英語	必修
地理歴史	世界史A	2科目のうち1科目選択
	世界史B	
	日本史A	4科目のうち1科目選択
日本史B		
公民	地理A	現代社会1科目 又は 倫理・政治・経済の2科目
	地理B	
	現代社会	どちらか選択
理科	科学と人間生活	科学と人間生活 物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎の計2科目 から1科目 物理基礎、化学基礎、 生物基礎、地学基礎 から3科目
	物理基礎	
	化学基礎	
	生物基礎	
	地学基礎	

科目の選び方
(公民、理科)で合格に
必要な科目数が変わります。
(8科目～10科目)

355

1回の試験で合格に
必要な科目に
合格する必要は
ありません。
(合格科目を累積することになります)

※出願書類については、文部科学省のホームページを確認するか、
電話で文部科学省にお問い合わせください。

◎高校等に在学中の方へ(合格科目の単位認定)

合格科目は、高校等へ申請することにより、単位として認定を受けることもできます。
認定できるかどうかは学校長の判断によりますので、希望される場合は、
受験前に必ず高校等に確認をしてください。

合格要件を超えての
受験はできません。

◎試験の免除

これまで学習してきた成果をもとに、試験科目を免除できる場合があります。

- 高校、中等教育学校等へ通っていた人
- 高等専門学校へ通っていた人
- 文部科学大臣が指定した専修学校の高等課程へ通っていた人
- 英検、数検、歴検などの資格を持っている人

各試験科目の免除に必要な科目や単位、資格試験は決まっているので、
詳しくは文部科学省のホームページを確認するか、
電話で文部科学省にお問い合わせください。

高卒認定 免除要件 文部科学省

検索

◎高卒認定試験に合格すると受験できる国家試験、採用試験

国家試験の受験資格や合格後の取扱いで、高卒認定試験合格者は「高卒者と同等」に扱われています。
● 今後も、更に多くの地方公共団体や企業でも、同様の取扱いがなされるよう働きかけていきます。

■受験可能な国家試験

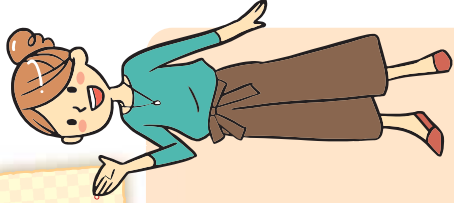
府省庁名	国家試験の名称
文部科学省	幼稚園教員資格認定試験
文部科学省	小学校教員資格認定試験
文部科学省	高等学校教員資格認定試験 (※休学中)
文部科学省	特別支援学校教員資格認定試験
厚生労働省	建築物環境衛生管理技術者試験
厚生労働省	保育士試験
厚生労働省	第一種衛生管理者免許試験
厚生労働省	第二種衛生管理者免許試験
厚生労働省	第一種作業環境測定士試験
厚生労働省	第二種作業環境測定士試験
厚生労働省	職業訓練指導員試験
農林水産省	普及指導員資格試験
農林水産省	林業普及指導員資格試験
農林水産省	水産普及指導員資格試験
農林水産省	動物用医薬品登録販売者試験 (新潟県県において実施)

■受験可能な国の採用試験

府省庁名等	採用試験の名称
人事院	国家公務員採用一般職試験
人事院	皇宮衛衛官採用試験(高卒程度試験)
人事院	入国警備官採用試験 (警備官の区分に依る)
人事院	税務職員採用試験
人事院	航空保安大学校学生採用試験
人事院	海上保安大学校学生採用試験
人事院	海上保安学校学生採用試験
人事院	気象大学校学生採用試験
防衛省	防衛大学校学生採用試験
防衛省	防衛医科大学校医学科学学生採用試験
防衛省	防衛医科大学校看護学科学学生採用試験
防衛省	航空学生採用試験
衆議院	衆議院事務局職員採用簡易試験
参議院	参議院事務局職員採用簡易(術科)試験
裁判所	裁判所職員採用一般職試験 (裁判所事務官、高卒者区分)

※国家資格を認定するための試験及び国が実施する採用試験において、高等学校卒業と同等とみなしている試験を記載しています。
高卒認定試験の合格を高等学校卒業と同等とみなしている試験を記載しています。
※専門的知識を修了することを条件とするものを除きます。

免除できる科目があるか、
調べてみましょう。
ただし、全ての科目を
免除することはできません



私も受験
できるかしら?



合格要件を超えての
受験はできません。

受験者の方から 様々な声が寄せられています

以前から高卒認定試験のことは知っていましたが、精神疾患により試験会場のような人ごみに行くことができません。受験をあきらめていました。
しかし、特別措置の存在を文部科学省のホームページで知り、思いきって受験を試みることにしました。

勉強する楽しさや学ぶことの喜び、努力すれば目標に近づけるという大切なことに気がきました。

勉強はとて大変ですが、動きながらでもチャレンジでき、このよ様な認定試験があることで、新しい夢に向かって頑張れる人が沢山いると思います。
私もその1人です。



高卒認定試験を全て合格して、看護師になりました！

人生には、いろいろあります。でも自分次第で必ず変われる。そう信じています。

※高卒認定試験の合格科目が、高等学校の単位として認定されるかどうかは、各校長の判断によります。

合格者の方から 寄せられたエピソードを紹介します

私は高校2年まで中退してしまい、ずっと後悔してきました。結婚し、子供もいるので、進学を希望しているのですがありません。資格を取りたいと思い、挑戦しました。
勇気を出して受験してみてもよかったです。久しぶりの勉強も大変ではなかったけど、世界史・現代社会など、自分の知らないことをたくさん知ることができて楽しかったです。私のように大学等へ進学するわけではなくても、高校を出ていないことを気にしている方におすすみたいです。

50歳からのチャレンジでした。
私は、青年期は業行も悪く、高校を2年生の時に入退しました。そのため、希望する職業にも就くことができませんでした。しかし、今回の高卒認定試験の合格により、通信大学に入学して、知識と教養を深めようと考えています。
人はいつになってもやり直すことができます。思いやり、高卒認定試験は、そのきっかけを私に与えてくれました。

私は、新学年になってから不登校になりました。その際、様々な思いに駆られ、不安と葛藤し、何度も自己嫌悪に陥り、家族と距離をしながらも自分自身と見つめてきました。そんな私にとって、高卒認定試験は希望であり、自分の夢へ近づけるきっかけとなりました。
受験することを決めたから試験日まであまり時間がなかったのですが、何とか合格することができました。
私は不登校という悩みに直面してから保健師の方に出会い、それをきっかけに看護職になりました。今後は、看護学生になるべく受験勉強を頑張ります。また、友達と同じ年に進学できる可能性があること、心からうれしく思っています。



◎高等學校卒業程度認定試験合格支援事業について

厚生労働省の補助事業として、高等学校卒業程度認定試験合格支援事業が実施されています。詳しくは、厚生労働省のホームページをご確認ください。
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000074604.html>

◎高等学校の修学支援制度について

令和2年4月から、大学、短期大学、高等専門学校（専門課程）の学生等は、定められた要件（家計の経済状況等）を満たせば、申請により、給付型奨学金及び授業料・入学金の減免を受けられるようになり、高等学校卒業程度認定試験を経て進学する方も、その対象となります。詳しくは、下記のページをご覧ください。
https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

◎令和3年度 高等学校卒業程度認定試験年間スケジュール

第1回試験

受験案内・願書の配布開始	4月5日(月)
受験案内・願書の配布開始	7月20日(火)
出願の受付	4月5日(月)~5月10日(月) 消印有効
出願の受付	7月20日(火)~9月14日(火) 消印有効
試験日	8月12日(木)・13日(金)
試験日	11月6日(土)・7日(日)
結果通知	9月7日(火) 募集予定
結果通知	12月7日(火) 募集予定

第2回試験

◎試験の時間割

	1日目	8月12日(木)・11月6日(土)	2日目	8月13日(金)・11月7日(日)
1時間目	9:30 - 10:20	物理基礎		倫理
2時間目	10:50 - 11:40	現代社会又は政治・経済		日本史A・日本史B・地理A・地理B いずれか1科目
3時間目	11:40 - 12:40		昼食・休憩	
3時間目	12:40 - 13:30	国語		世界史A又は世界史B
4時間目	14:00 - 14:50	英語		生物基礎
5時間目	15:20 - 16:10	数学		地学基礎
6時間目	16:40 - 17:30	科学と人間生活		化学基礎

◎受験案内・願書の入手方法

第1回試験は4月5日(月)から、第2回試験は7月20日(火)から、文部科学省及び各都道府県教育委員会等で配布します。直接取りに行くか、下記の電話又はインターネットで請求してください。

※直接取りに行く場合、配布場所を文部科学省ホームページに掲載していただきますので、ご確認ください。
※文部科学省では、電話による請求の受付は行っていません。電話による取り寄りを希望される場合には、必ず下記の電話番号から申し込んでください。

電話で請求する場合

IP電話 050-8601-0101へ電話し、音声ガイダンスに従って申し込んでください。
受験案内の資料請求番号は、第1回試験が232100、第2回試験が232109です。

インターネットで請求する場合

下のURLにアクセスし、画面に従って申し込んでください。
<https://telemail.jp/shingaku/kounin/>



電話及びインターネットで請求する場合の注意点

- 請求受付期間は、第1回試験が令和3年3月9日(月)~同年5月9日(月)、第2回試験が令和3年6月10日(火)~同年9月7日(火)です。
※なお、以下の期間はレターパック(速達)での発送による請求を受付いたします。
(第1回:5月10日(火)~9月9日(日) 正午 第2回:9月10日(火)~9月10日(金) 正午)
- 請求期間~1日程度で受験案内が届きます。ただし、配布開始日以降に請求した場合、発送は配布開始日以降となります。
- 電話は自動音声で案内されます。操作で不明点があった場合には、下記の電話番号にお問合せの上、オペレーターの指示に従ってください。
(オペレーターへのお問合せ先:9:30~18:00) 050-8601-0102)



◎お問い合わせ先

◎文部科学省総合教育政策局同生生涯学習推進課

〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 TEL:03-5253-4111 FAX:03-6734-3272
◎ 認定試験に関すること、認定試験第一係・第二係(内線:2024・2643)
◎ 証明書に関すること、認定試験受付(内線:2590・2591)

42. 専修学校 #知る専リーフレット

専修学校の
魅力を伝える
新たなポータルサイト

令和3年3月9日

OPEN!

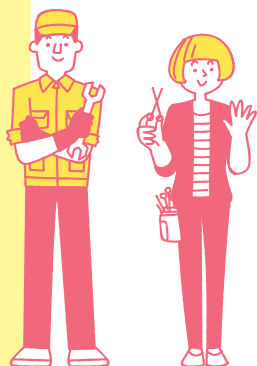


専修学校の「いま」を知る あなたの「未来」がここにある

専修学校 #知る専

中高生が専修学校を認知し、興味を持ち、進路選択の検討につなげるため、
新たな広報プロジェクト「**専修学校 #知る専**」がスタートします。

専門学校や高等専修学校が制作した動画や記事の特設
YouTubeチャンネルやポータルサイトに掲載可能! 専修学
校の生徒や教職員がInstagramなどのSNSに「#知る専」
をつけて投稿すると特設サイトに連動して掲載されます。



専修学校のみなさんと作る参加型広報プロジェクトです。

投稿大募集!



たとえばこんなテーマの
記事や動画を大募集。

そのほか募集中のテーマは
サイトをご覧ください。

在学生から見た
専修学校の魅力



卒業制作の
紹介



コロナ禍での
学習の工夫



#知る専応援サポーターの
素顔が見える



学校の取組を
動画で見られる



専門学校を卒業して活躍する
先輩の仕事を知れる

専修学校の「いま」を知る
あなたの「未来」がここにある
専修学校 #知る専
特設ポータルサイト



文部科学省 総合教育政策局
生涯学習推進課 専修学校教育振興室

本リーフレットは、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、株式会社三菱総合研究所が実施した令和2年度「専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業」の成果物です。



文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN